

1 主題名 真の友情 内容項目 B-10 友情, 信頼

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目B-10「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。」をねらいとしている。このことは、低学年の内容項目「友達と仲よくし、助け合うこと。」、中学年の内容項目「友達と互いに理解し、助け合うこと。」を受け、さらに、中学校の内容項目B-8「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら、人間関係を深めていくこと。」へと発展していく。

この時期の児童にとって、友達関係は最も重要な人間関係の一つであり、友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向付けられることも少なくない。児童は、これまで以上に友達を意識し、仲のよい友達との信頼関係を深めていこうとする。しかし一方では、閉鎖的であったり自己中心的であったりする友人関係に心地よさを感じて、相互の信頼の下に、互いに磨き合い、高め合うような真の友情関係を築こうとする意識が欠けている。

そこで、真の友情関係を築くためには、お互いに信頼し合い、相手のことを真剣に考えて接することが大切であるということに気付き、互いを高め合える友情関係を築こうとする意欲を高めたいと考え、本主題を設定した。

(2) 教育活動との関連

<p>学級目標 「仲間・感動・ 優しさ・学び がいっぱい の6年〇組に しよう！」</p>	<p>国語 (風切るつばさ) 登場人物の相互関係や心情、場面についての叙述を基に物語の人物関係を理解することができる。</p>	<p>学校行事 (陸上記録会) 自分や学年全体が掲げた目標に向かって、友達と励まし合ったり力を合わせてやり遂げたりする態度を養う。</p>	<p>体育 (マット運動) 自分の力にあった課題を見つけ、友達と協力し励まし合いながら、進んで練習することができる。</p>
<p>学級の係活動 教室環境 ・道徳コーナー ・学習コーナー</p>	<p>学級活動 (君に届け!心のメッセージ) 友達のよいところを見つけ伝え合う活動を通して、お互いに認め合い共に成長しようとする態度を養う。</p>	<p>特別活動 (学年スポーツ大会を開こう) 学年全体で楽しめる活動を企画・運営することを通して、友達と一緒に一つのことを成し遂げる喜びを味わい、協力して活動しようとする意欲を高める。</p>	<p>特別活動 (縦割り班活動) 最高学年生として下級生や学校全体のために自分ができることを考え実践することで、よりよい学校生活を送ろうとする主体的な態度を養う。</p>
<p>↑ ↓</p> <p>特別の教科 道徳 B-10 友情, 信頼 「ロレンゾの友達」 真の友情関係を築くためには、お互いに信頼し合い、相手のことを真剣に考えて接することが大切であるということに気付き、互いを高め合える友情関係を築こうとする意欲を高める。</p> <p>↓</p>			
<p>友達同士の相互の信頼関係の下に、互いに磨き合い、高め合うような、真の友情を育てるとともに、互いの人格を尊重し合う人間関係を築いていこうとする態度を育てる。</p>			

(3) 児童の実態について

本学級の児童は、明るく素直な児童が多く、男女を問わず仲良く生活している。6年生に進級して過ごした約2ヶ月の間に、陸上競技会や運動会を経験し、友達と励まし合ったり競合したりしながら共に成長してきた。また、毎日の生活の中では、グループ学習や係活動で、友達と意見を言い合ったり考えを認め合ったりしながら活動する経験をしている。ほとんどの児童は、これまでの友達との様々な経験から、周囲の友達と仲良くしたり協力したりすることの大切さについて、知識としては十分理解している。事前調査では、「あなたにとっで友達はどんな存在か?」という質問に対して、「仲がいい。一緒にいてくれる。」「悩みを聞いてくれる。だめなことは注意してくれる。」「信じ合っている。」などと回答しており、友達は、仲がよいだけではなく、共に高め合う存在であることを知識としては理解している。しかし、日常生活では、自分が与えられる側の友達関係を求めているだけで、相手にとってどうかということを考えて友達関係を築いている児童は少ない。そのため、自分の意見を言えなかったり相手のことを誤解したりして、上辺だけの友達関係で満足している児童もいる。特に女子は、友達関係を保とうとして相手に同調するなど、自分の本意とは違った接方をしていく児童も見られる。そこで児童には、真の友情関係では、相手のことを思い、相手のために本当に大切なことは何かを考えて接することが大切であるということに気付かせたい。そして、お互いに信頼し理解し合って、相手のことを真剣に考え、お互いを高め合えるような存在として児童同士の友情関係を築かせたい。

(4) 教材について (「ロレンゾの友達」出典「文部科学省道徳教育指導資料」)

本資料は、罪を犯したかもしれないロレンゾという友達に対し、アンドレ、サバイユ、ニコライの3人の友達が、どのように対応していくか悩み、葛藤する内容である。指導にあたっては、3人の考えについて、自分がその状況であったとしたらという姿勢で考えさせ、自分が友達のために何が出来るかを考えることによって、真の友情の本質に迫っていきたい。児童の多様な思考を整理するために、構造的な板書構成を工夫していく。グループや全体での意見交流を大切に、自分とは違う考え方に気付かせ、自分の考えを深められるようにしたい。

3 本時の学習

(1) ねらい

真の友情関係を築くためには、お互いに信頼し合い、相手のことを真剣に考えて接することが大切であるということに気付き、互いを高め合える友情関係を築こうとする意欲を高める。

(2) 資料・準備

道德ノート, ネームマグネット, ワークシート, ホワイトボード, マジックペン

(3) 学習指導過程

◎「**〇〇スタイル**」：めあて・学び合い・振り返りの工夫

主な活動と発問	予想される児童の反応	指導上の留意点と評価
<p>1 本時では「真の友情」について考えることを知る。 ○あなたにとって、「友達」とはどんな存在ですか？</p> <p>あなたは、友達のどんな存在でありたいですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仲がいい。 一緒にいてくれる。 悩みを聞いてくれる。 だめなことは注意してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分にとっての友達の存在を考慮することで、普段の友達関係を想起させる。 ◎自分が相手にとってどんな友達でありたいかを考えさせることで、主体的に課題意識をもたせる。
<p>2 資料「ロレンゾの友達」の範読を聞いて話し合う。 ○あなたがロレンゾの友達だったらどうしますか。その理由は何かですか？</p>	<p>【アンドレ】</p> <p>お金を持たせて逃がす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ロレンゾを助けたい。 友達に警察に捕まってほしくない。 ロレンゾを信じている。 <p>【サバイユ】</p> <p>自首を勧める。納得しなければ逃がす。</p> <ul style="list-style-type: none"> やったことは悪いことだけれど、無理矢理警察に連れて行きたくない。 ロレンゾがどうしてほしいか聞きたい。 <p>【ニコライ】</p> <p>自首を勧める。納得したら付きそう。だめだったら警察に知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 罪を見逃してはいけない。 逃がしてもロレンゾのためにならない。 正しい行動をとらせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時は、「ロレンゾの友達」の中のアンドレ、サバイユ、ニコライの考え方から「真の友情」について考えていくことを知らせる。 ◎自分の意見をマグネットで示し、自分ごととして考えさせる。 登場人物の多様な心情に共感させるために補助発問をし、児童の本音を引き出す。 児童の発言を基にベン図を使って板書を構成していき、児童の思考を視覚化して整理する。
<p>◎3人の行動や考えはロレンゾに対するどんな思いから生まれたものだろう。 (1) 自分で考える。(道德ノート) (2) グループの友達と話し合う。(ホワイトボード) (3) 全体で交流する。</p>	<p>【アンドレ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ロレンゾにつらい思いをさせたくない。 友達を守りたい。 友達を信じている。 <p>【サバイユ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ロレンゾの気持ちを尊重したい。 ロレンゾに間違った道を歩んでほしくない。 <p>【ニコライ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に正しい道を歩んでほしい。 友達だからこそ間違いは正すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 道德ノートや意見交流の様子を見て価値に迫る意見を座席表に記録し、全体の話し合いに生かせるようにする。 児童の価値に迫る発言を引き出すために、グループの話し合いに加わって補助発問をする。 多様な意見を認めながら、3人の考えに共通するものを考えさせることによって、3人とも友達のことを真剣に考え、尊重していることに気付かせる。 ◎グループで話し合いながら、考えをホワイトボードに整理することによって、多様な考えに気付いたり、自分の考えを深めたりすることができるようになる。
<p>3 自分の生活を振り返る。 ○あなたは、友達のどんな存在でありたいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 感じたこと、考えたこと 今までの自分 これからの自分 	<ul style="list-style-type: none"> 友達にとって、何が1番よいことかを考えたい。 友達にとって何が正しいか考えてアドバイスしたい。 友達を自分のことのように考えてあげたい。 お互いに信頼し合える存在でいたい。 自分も友達も一緒に成長したい。 今までは、友達にしてもらうことばかり考えていた。これからは、友達のためになることをしてあげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎今日の課題を確認し、道德ノートに3つの視点で振り返りを記入することで、一人一人が自分自身と向き合えるようにする。 振り返りを書くことができない児童には自分の生活を想起しながら振り返るように話し支援する。

4 評価の視点

- 話し合いを通して、友達の考え方に触れながら、友達のことを考えて互いを高め合える友情関係の大切さについて考えていたか。(話し合いの様子, 道德ノート)
- 自分自身の友情にかかわる経験やこれからの生活について想起し、自分事として振り返っていたか。(道德ノート)

5 実践化への手だて

学習活動や生活の様々な場面を通して、学び合い協力し合いながら、信頼関係や友情関係を育ていけるように指導する。特に、修学旅行、なわとび集会などの行事を通して、お互いに信頼し合ったり高め合ったりする経験をさせ、意欲を喚起する。